



香川大学工学部ニュース

No. 49, 2013.10.15

学部長就任のご挨拶

香川大学工学部長 中西 俊介

この10月1日付けで工学部長に就任いたしました。お二人の副学部長及び教育研究評議員と協力しつつ、工学部の教育・研究のさらなる深化、発展のために、微力ではございますが学部運営に努めてまいります。これまで教育研究評議員として大学運営の一端にも携わらせていただいた経験を生かし、香川大学全体の発展に寄与するという視点も保ちつつ、職務にあたりたいと考えています。



左から、松島副学部長、中西学部長、垂水評議員、平田副学部長

現在、国立大学法人は文部科学省と協同

してその役割を再確認する「ミッションの再定義」を行っています。香川大学の中で工学分野を所掌する工学部には、将来を担う理工系人材を育成する教育、科学・技術の進歩に寄与する先端的研究、地域の産業界や教育界と協同する地域貢献などが求められています。運営費交付金の毎年の削減や受験生の理工系離れの傾向が続いており、地方国立大学の工学系学部を取り巻く状況は厳しいものがありますが、そのような状況の中で、工学部の存在感を示すことのできる教育・研究の成果が上がるような方策を志向していきたいと思っています。皆様のご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

加齢臭除去加工「ノネカット加工」の開発

材料創造工学科の掛川寿夫教授と香川県のクリーニング店「白洋舎」が共同で開発した、加齢臭除去加工「ノネカット加工」が注目されています。加齢臭の原因物質であるノネナールは、天然アミノ酸の一種と特異的に化学結合することで無臭化されます。掛川教授らは、ノネナールに有効な天然アミノ酸を洗剤に配合して浸け置き洗いで、衣類や寝具についた臭いを95%以上除去することに成功しました。今後の高齢化社会に適応した新しいクリーニング事業での活用が期待されます。

台湾・国立嘉義大学派遣団が工学部を訪問

平成 25 年 8 月 5 日午後、台湾・国立嘉義大学から、邱義源博士（校長）や李瑜章教授（国際事務局長）他、計 5 名が工学部を訪問されました。この日、派遣団はまず、幸町キャンパスにて学長を表敬訪問、農学部訪問をされたのち、工学部に来訪されました。工学部長との懇談のあと、工学部 1 号棟 11F ラウンジに移動して、高松市郊外の景色を楽しまれました。その後、情報関連教育や、電子顕微鏡についてのご説明を受けられ、さらに、工学部で 10 月から受入れを予定している国立嘉義大学の学生が所属する予定の研究室やものづくり工房も見学されました。今後も、国立嘉義大学との益々の交流が期待されます。



記念撮影（前列左から 増田工学部長、邱校長、李国際事務局長、後列左から ロン香川大学留学生センター長、謝勝文会計主任、翁頂升助教、黄國鴻教授、垂水教授）



情報関連教育についての説明の様子

2013 IEEE メカトロニクス及びオートメーション国際会議の開催

平成 25 年 8 月 4 日～7 日に、香川大学と IEEE の主催により「2013 IEEE メカトロニクス及びオートメーション国際会議 (2013 IEEE International Conference on Mechatronics and Automation、略称 IEEE ICMA 2013)」が高松サンポート国際会議場にて開催されました。本会議は IEEE Robotics and Automation Society、日本ロボット学会、日本機械学会および日本精密工学会などから技術支持を得て、世界 33 各国・地域から 456 の論文投稿があり、Full paper 査読で 301 編の論文が採用（採択率 66%）され、350 名の参加者がありました。

本会議は、長尾学長と増田工学部長が顧問委員長を務め、本学部の郭教授が実行委員長を務め、香川大工学部平田教授、荒川教授、澤田教授、石原准教授、能見准教授、鈴木桂輔准教授をはじめ、40 人の教員および大学院生が参加しました。

なお、本会議は本学部の郭教授らにより 2004 年に創設され、今年で第 10 回目の開催で、正式に IEEE に承認され毎年開催する IEEE ICMA 国際会議です。来年は、平成 26 年 8 月 3 日～6 日に、IEEE ICMA 2014 (<http://2014.www.ieee-icma.org>) 国際会議として、中国天津市にて開催されることになりました。IEEE ICMA 国際会議は香川発の最高レベルの国際会議になると期待されます。



IEEE ICMA 2013 開幕式

第1回オープンキャンパスを開催

平成25年8月8日、香川大学オープンキャンパスを開催しました。今年のオープンキャンパスも非常に厳しい暑さに見舞われましたが、工学部には多数の高校生、保護者の方々、高校の先生方がお集まりくださり、参加者数はおよそ600名となりました。ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。



全体説明の様子



入試相談

タイの協定校訪問を実施

平成25年9月2日から7日までの約1週間、工学部の2年生5名と教職員数名が、タイのチェンマイを訪問しました。派遣団は、協定校のチェンマイ大学とメチョー大学を表敬訪問、現地の日系企業を見学したほか、寺院や遺跡見学もおこないました。香川大学の複数の学部と活発な交流をおこなっているチェンマイ大学では、派遣学生5名が、2日間に渡ってバイオメディカル工学専攻の学生約15名と交流し、研究室見学や、研究概要の発表セッションにも参加しました。メチョー大学は、これまでも農学部と交流が深められている大学で、工学部生が訪問するのは今回が初めての機会となりました。ランブン工業地区の2社の企業見学は、日本のものづくりを改めて知る、良い機会となりました。今年度も、個人旅行では決して訪れることのない大学の研究室や企業を訪問したことで、大変有意義な訪問プログラムが実現しました。



チェンマイ大学にて 学生発表セッション後の集合写真



チェンマイ大学にて 異文化交流セッションの様子



メチョー大学 Welcome Center 訪問時の様子



メチョー大学 Faculty of Engineering and Agro-Industry 訪問時の様子

東北地方の海域に人工藻場造成構造物を設置

震災で深刻な被害を受けた東北地方の海域の藻場を回復させるために、香川大学工学部安全システム建設工学科の末永教授らの研究グループが開発した人工藻場造成構造物が、海底に設置されました。これは、農研機構（独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構）に採択された事業として実施しているものです。被災地の漁業関係者から、コンブ、ワカメ等の藻場の復活が期待されています。



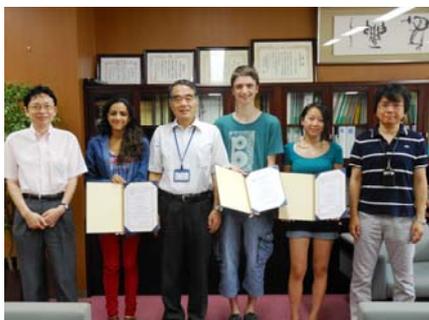
クレーンで構造物を持ち上げる様子



構造物を海底へ

国際インターンシップ修了証授与式を挙行

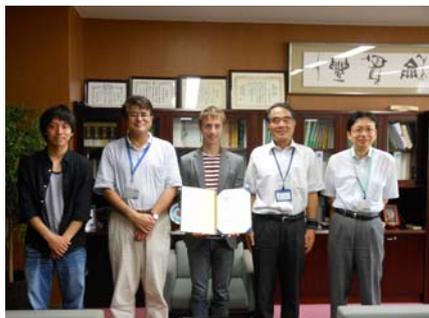
フランス、アメリカ、ドイツの3つの協定校から来日して、今学期に工学部で国際インターンシップを実施した6名の学生の修了証授与式が行われ、工学部長から修了証が手渡されました。今年度の派遣は、9月から10月にかけて、工学研究科の5名の学生がヨーロッパの4つの協定校で研修をおこなう予定です。



7月12日の授与式にて（左から順に、垂水副学部長、Mouloudさん、増田工学部長、Maireさん、Limさん、サボア大学担当教員 澤田教授）



7月26日の授与式にて（左から順に、垂水副学部長、トレド大学担当教員 岩本教授、Johnsonさん、増田工学部長）



8月2日の授与式にて（左から順に、学生チューター 上原さん、松島教授、Hemadouさん、増田工学部長、垂水副学部長）



9月13日の授与式にて（左から順に、増田工学部長、Pinellさん、研究室メンバー 熊代さん）

タイ・チェンマイの協定校訪問の報告会を開催

平成 25 年 10 月 9 日、タイ・チェンマイの協定校訪問の報告会を開催しました。派遣された学部 2 年の 5 名の学生からは、主に、チェンマイで訪問した 2 つの協定校、チェンマイ大学とメチョー大学での施設見学や学生交流について、また、ランプン工業地区にある 2 社の日系企業とその工場見学について報告がありました。

同じ世代の海外の学生と触れ合う機会を通じて、さらに日本とは異なるタイの文化や習慣に触れたことで、学生からは、非常によい刺激を受け感化された、英語を母国語としないタイの学生の非常に流暢な英語でのコミュニケーションを目の当たりにして危機感を覚えた、今後履修する専門科目に積極的に取り組みたい、など多くの感想も述べられました。

報告会には、タイから来日している留学生を含む計 10 名の教職員と学生の参加がありました。報告会後の懇親会では、約 1 ヶ月前のチェンマイ訪問を振り返りながら、教職員と学生がなごやかに歓談しました。



報告会の様子

新任教員挨拶

材料創造工学科 准教授 松本洋明

平成 13 年 3 月に東北大学大学院修士課程を修了後、三井金属鉱業株式会社に勤務し、平成 15 年 10 月より東北大学金属材料研究所に勤務、平成 18 年 3 月に社会人博士号を取得、平成 19 年 3 月より同所の助教として勤務し、本年 10 月より香川大学工学部材料創造工学科に着任致しました。専門は構造用金属材料（チタン合金、コバルト合金、マグネシウム合金）の組織制御と高機能化に主眼を置いた研究開発です。様々な塑性加工プロセスを駆使してマクロ・ミクロ・ナノスケールから組織を最適に制御し、力学特性の高機能化を目指しており、最近では航空機や自動車への応用を目指した研究を展開しております。本学部での教育・研究に貢献できるよう頑張っていきますので、宜しくお願いいたします。



材料創造工学科 講師 上村忍

平成 13 年 3 月に熊本大学大学院博士後期課程を修了後、企業、数か所の大学での博士研究員、熊本大学大学院自然科学研究科での助教を経た後、本年 10 月より香川大学工学部・材料創造工学科の講師に着任いたしました。専門はコロイド・界面化学で、有機分子・高分子等を対象として、自己組織的に作られるナノ構造を見ながら評価・構造制御する研究を行っております。人間の感覚などは非常に高感度であり、目で見えないナノ構造が様々な影響を与えています。構造制御だけでなく、目に見える材料創製を目指し、研究・教育に頑張りたいと思っております。



平成 25 年度 第 2 回オープンキャンパス

平成 25 年 11 月 2 日、香川大学工学部の第 2 回オープンキャンパスを開催します。(同時開催：工学部祭) 是非ご参加ください。

日時：平成 25 年 11 月 2 日 (土) 9:30～17:00

場所：香川大学工学部 林町キャンパス (入場無料、駐車場あり)

※ 詳細は工学部ホームページをご覧ください。

http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/open_campus/

トピックス

学術賞受賞等

4 月 19 日 藤田順一, 電気関係学会関西連合大会奨励賞 / 7 月 13 日 白井僚, 第 35 回日本光医学・光生物学会学生トラベル・グラント / 7 月 31 日 鏡原和也, 土木学会四国支部賞優秀発表賞 / 8 月 8 日 吉田祐規, 第 11 回優秀ポスター賞 (第 26 回 DV-X α 研究会) / 8 月 28 日 大津朋也, 電気学会第 18 回知能メカトロニクスワークショップ優秀講演賞 / 9 月 7 日 増田拓朗, 瀬戸内海環境保全功労者表彰 (環境大臣表彰) / 9 月 9 日 品川一成, 日本機械学会機械材料・材料加工部門部門賞 (業績賞) / 9 月 18 日 神野正彦, 電子情報通信学会フェロー称号

教員人事

10 月 1 日 採用：松本洋明准教授、上村忍講師

編集：工学部広報室	電話：087-864-2000	FAX: 087-864-2032
e-mail: info@eng.kagawa-u.ac.jp		
http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/		